

ぼくの学校、わたしの学校

市内の小・中学校を児童・生徒のみなさんがPR!



手賀小学校

自ら考え、正しく判断し、行動できる児童を育てる
知・徳・体の調和の取れた人間性豊かなたくましい児童を育てる

- ◆所在地 行方市手賀 2584 ◆電話 0299-55-0009
- ◆学校長 荒井保雄 ◆職員数 15人 ◆児童数 98人
- ◆開校日 明治36年9月1日



縦割り班での花苗植え

本校は、明治7年に学区内にある養徳寺を校舎とした「手賀学舎」が前身としてあり、何回か移転を経て、明治36年9月1日に現在の敷地の下に校舎が建てられ、授業を開始したのが開校日とされています。その後、高台の現在の敷地に移転し今日に至っています。敷地から霞ヶ浦と遠くに富士山を望む環境の下、98名の子どもたちは、毎日元気に学校生活を送っています。

本年度は、児童が笑顔で登校できる「楽しい学校」をめざして、「児童が分かる授業の推進」「体験活動を通じた豊かな心の育成」「地域の学校としての地域に開かれた学校づくりの推進」の3点を意識した教育に取り組んでいます。授業の中で体験活動や校外学習を積極的に行うなど児童が体感することを楽しみながら学校づくりに努めています。45分間ある昼休みに元気よく外で遊んで楽しんでくれる子ども達の姿が毎日見られます。

笑顔で登校できる
「楽しい学校」をめざして



ゆうかり祭

稲作体験やビオトープづくり
地域を意識した教育

本校では、地域の学校を意識した取り組みを進めています。児童は、異学年で構成する縦割り班を組織しています。毎日の清掃活動や集会、給食など学年の枠を越えた活動を通して、地域の仲間としての意識が育っています。

また、毎年11月に、保護者・地域住民も参加して「ゆうかり祭」を実施しています。祭では、「手賀地区自然を守る会」の協力で、5年生が稲作りをして収穫した米を使って、地区ごとに全員が協力して餅つきをしていただいています。その後、児童の発表会や昔遊び体験など秋の一日を親子や地域の方と有意義に過ごしています。そして、霞ヶ浦に近いことから、3・4年生が環境教育に取り組んでいます。本年度は、アサザ基金の指導の下ビオトープづくりに挑戦しました。

このように地域を意識した教育に取り組んでいます。



栗又 琴音さん (1年)

私は本が大好きです。朝の読書タイムではいろいろな本を読むことが出来ます。また、PTAの方が紙芝居や大きな絵本の読み聞かせをしてくれてとても楽しかったです。

これからもたくさんの本を読んでみたいです。



對馬 悠人さん (6年)

手賀小学校の自慢は、冬の良く晴れた日に富士山がとてもきれいに見えることです。また保護者の方に協力してもらいながら挨拶運動を行っています。この活動をとおして多くの方が大きな声で挨拶ができるようになればいいと思います。

ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな人を紹介していきます!

飯田さん

(吉田精工株式会社)

私たちの会社は歯科医療機器を生産しています。昨年の4月に入社し、先輩たちの丁寧な説明のおかげで少しずつですが知識も増えて仕事にも自信がつけました。

もっと業務について勉強して、会社の一員として役立つ人材となるよう努力していきたいと思っています。



◆編集後記◆

新春恒例の小学生書き初め大会。1年生から6年生まで一筆一筆丁寧に書き上げていました。子どもたちを取材して、字の苦手な私としては、今更ではありませんが、子どもの頃に書道を習っておけばよかったと後悔しています。(保)

白い帆引き船が真っ青な湖面と空に映えてとても美しい今回の表紙は環境フォトコンテストで入賞した溝口一郎さんの写真です。とても素晴らしい作品だったので表紙に利用させていただきました。提供ありがとうございます。(友)